意見等募集の結果について

案 件	(仮称) 第6次茨木市総合計画 (案)
結果の公表場所	ホームページ、政策企画課担当窓口 (市役所本館3階)、情報ルーム (市役所南館1階)
意見募集期間	令和6年10月8日から10月31日まで
意見提出件数	41人・3団体、133件
意見募集時 公表資料	<ul style="list-style-type: none">・ (仮称) 第6次茨木市総合計画 (案)・ 【別冊】 総合戦略指標集 (案)
結果公表日	令和6年12月 2日
担当課	企画財政部 政策企画課 電 話：072-620-1605 F A X：072-623-3025 Eメール：kikaku@city.ibaraki.lg.jp

「(仮称)第6次茨木市総合計画(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	—	●計画の広報等について	I 全般 (1)ダイジェスト版を作成、市内公共施設に配布されたい	わかりやすい周知に向け、概略のわかる資料を作成し、公表します。
2	—	●計画の広報等について	I 全般 (2)奥付に、コスト表記をされたい	データでの公表を原則としていますが、印刷発注する場合はコスト表記します。
3	—	●計画の広報等について	I 全般 (3)インデックスを付け、読みやすく、分かりやすい工夫をされたい。	簡潔明瞭で、資料作成に努めます。
4	—	●計画の広報等について	I 全般 (4)広報「いばらき」に、トピックス記事を掲載願いたい。	ホームページや広報誌のトピックス記事等により、周知に努めます。
5	29	●まちの将来像	<p>■第6次茨木市総合計画(案)には、茨木市民とそれにかかわる行政人のあるべき、具備すべき基盤(理念)が述べられていません。</p> <p>■このため第6次茨木市総合計画(案)>基本構想>まちの将来像(29ページ)に茨木市民と行政が常に持たねばならない理念(下記)を追加記載してください。</p> <p>「茨木市民が掲げる基本計画」に「いのちと人間の尊厳を守る市民」の提示を求めます</p> <p>■追加記載を求める内容</p> <p>I憲法に基づく市行政と主権者たる市民に奉仕する透明性のある公正で多様性にもとづく市行政を行うこと。 すでに茨木市ホームページに掲げられている、先人の茨木市民が学び獲得した茨木市非核平和都市宣言(昭和59年[1984年]12月17日)を順守し広めること。</p> <p>II生命、生活を尊重する茨木市民のための行政を行うこと</p> <p>III地球環境の危機を直視し、地球的課題を解決するための行政であること。</p> <p><補記> 本年(2024年)夏の広島、長崎市で施行された原爆の日2024平和祈念式典で示されたように国ではなく市行政においても現に他国で行われている戦争・殺戮にたいして市(を代表する市長が)意見表明するべき時代です。 ◎日本でも、1980年代からこの非核宣言を行う自治体が増え続け、現在では約1,500自治体が宣言を行っています。</p>	29ページの記載は原案のとおりとしますが、ご指摘の趣旨は重要な視点であり、3-4人権・ダイバーシティの施策で推進していきます。
6	42	●基本計画(3)SDGsとの関係	(3)SDGsとの関係における「■各施策とSDGsの目標との関係」の3-1生涯学習と3-3文化芸術の該当項目(目標)と、茨木市生涯学習推進計画及び文化振興ビジョンの該当項目(目標)が一致していないため、修正をお願いします。「施策の概要」欄にある「3SDGsの位置付け」のアイコンについても、修正をお願いします。	3-1生涯学習に1・3・8・11・16を、3-3文化芸術に3・8・12を追加します。
7	53	1-1-4 一人ひとりの権利擁護(地域福祉)	【めざすべき姿】 認知症の人の増加に応じた、金融資産管理、地域内での孤立防止の支援策を充実されたい。	「茨木市成年後見制度利用促進計画」の取組内容をふまえ、権利擁護支援が必要な人の発見・支援、早期の段階からの相談体制の整備、意思決定支援、身上保護を重視した支援体制の構築を推進していきます。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
8	56	1-2-1 お互い につながり支え 合える地域づく り(高齢福祉)	【取組むこと】 在宅医療と介護の一体的実現について、強力に施策を推進されたい。	第8次大阪府医療計画に位置付けられて いる在宅医療を担う拠点に求められる 事項を踏まえ、医療と介護のより一層の 連携に努めます。
9	56	1-2-2 健康に いきいきと自立 した日常生活 を送れる地域 づくり(高齢福 祉)	【取組むこと】 家族介護者の負担軽減を図る。生活支援サービスを充実強化されたい。	高齢者保健福祉計画(第10次)・介護保 険事業計画(第9期)に基づき、引き続 き、家族介護者の負担の軽減を図るため の取組を進めるとともに、その担い手の 育成に努めます。
10	57	1-2-3 憩える 参加できる活 躍できる地域 づくり(高齢福 祉)	【取組むこと】 高齢期の就業に向けた学び直し、デジタル技術を学ぶ機会の充実を図ってほしい。	茨木シニアカレッジ等でのICT等の各種 講座の充実など、高齢者の方々の高い 学習意欲への支援を行い、これまでに 培った技術や経験をいかし、地域での社 会参加が円滑に進むよう、関係団体・企 業等との連携を図っていきます。
11	67	1-4-8 地域医 療の充実	休日夜間小児初期救急期間を茨木市内に設置してください。初期救急こそ、身近にあってほしいものであり、それがあから安心して茨木 での子育てを考えられるということもあります。車やタクシーで遠方まで行くのは、小さな子どもたちには負担です。ぜひ、市内での初期救急 復活を今後の取り組みの中にもりこんでください。	小児初期救急につきましては、これまで から、小児科医をはじめとする医療従事 者や検査機器など医療環境の充実に加 え、安全・安心な医療提供を図る観点か ら、三島二次医療圏における広域化を基 本に対応しているところではあります。
12	67	1-4-8 地域医 療の充実	休日夜間小児初期救急機関を茨木市内に設置してください。初期救急こそ、身近にあってほしいものであり、それがあから安心して茨木 での子育てを考えられるということもあります。車やタクシーで遠方まで行くのは、小さい子どもたちには負担です。ぜひ、市内での初期救急 復活を今後の取り組みの中にもりこんでください。	
13	67	1-4-8 地域医 療の充実	休日夜間小児初期救急機関を茨木市内に設置してください。初期救急こそ、身近にあってほしいものであり、安心して子育てできる要因の 一つです。他市への受診は小さい子どもにとってはただでさえ負担になります。体調が悪いとなるとなおさらです。市内での初期救急の復活 を今後の取り組みに盛りこんでください。	
14	67	1-4-8 地域医 療の充実	休日夜間小児初期救急機関を茨木市内に設置してください。初期救急こそ、身近にあってほしいものであり、安心して子育てできる要因の 一つです。他市への受診は小さい子どもにとってはただでさえ負担になります。体調が悪いとなるとなおさらです。市内での初期救急の復活 を今後の取り組みに盛り込んでください。	
15	67	1-4-8 地域医 療の充実	子育て支援というならお金もそうですが、休日夜間小児救急を茨木市内に設置してほしい。若い母おや、父おやは急病が1番不安です。	
16	67	1-4-8 地域医 療の充実	休日夜間小児初期救急機関を茨木市内に設置して下さい。体調の悪い子どもを連れて電車に乗って他市へ受診するのは大変です。すぐに 診てもらえるような体制作りをして下さい。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
17	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	国保料・介護料・後期高齢者医療保険料ともに値上がりもあり、高額で家計への負担が大きくなっています。年金が下がっているなか、大変苦しい思いをしています。保険財政が黒字であるなら、加入者へ還元する形で値下げ等の対応をすすめてください。	国民健康保険につきましては、令和6年度から大阪府内において保険料率が統一されており、府内の全市町村の財源を活用し一定の保険料率抑制を行っているところです。 今後とも大阪府国民健康保険運営方針に基づく適切な運営に努めるとともに、必要に応じ、大阪府の広域化調整会議等において意見していきます。
18	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	国保料・介護料・後期高齢者医療保険料ともに値上がりもあり、高額で、家計への負担が大きくなっています。年金が下がっているなか、大変苦しい思いをしています。保険財政が黒字であるなら、加入者へ還元する形で値下げ等の対応をすすめてください。	
19	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	「現状と課題」の項で、茨木市の国民健康保険の事業決算が大きな黒字があるにも関わらず、保険料は毎年上がり、特に年金生活者には大変きびしい生活をしいられる結果となっています。市として、市民負担軽減のために補助をし、保険料を引き下げるなど、私たちの納めた税金を有効に活用してほしいと思います。市の貯めた税金は大規模開発優先ではなく、子どもたちや高齢者、弱者のために活用されることを強く要望します。	介護保険につきましては、国の改正内容や近隣市の状況を踏まえ、低所得者の保険料上昇を抑制しつつ、所得に応じた保険料を多段階化することで、より被保険者の実情に応じた負担をお願いしているところです。 なお、必要な介護保険給付を見込み、基金を活用しながら、介護保険料基準月額を算定しています。
20	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	高すぎる国保料・介護保険料も市独自の補助で下げてもらいたい。	
21	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	国保料・介護保険料・後期高齢者医療保険料とも年々上がり、高額で家計への負担が大きいです。年金は、わずかしか上らず、物価高騰、掛金上昇で、高齢者は大変生きづらくなっています。保険財政が黒字であるなら値下げ等の対応をしてください。	後期高齢者医療保険につきましては、大阪府後期高齢者広域連合において保険料率が決定されますが、保険料率の決定の際には、剰余金の活用等、保険料率抑制策を講じられていると聞いています。
22	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	国保料介護料・後期高齢者保険料が財政的には黒字にかかわらず値上がりして、家計のやりくりを苦しめています。黒字分を、還元して、できるだけ値下げしてください。	
23	68	1-4-9 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営	マイナンバー保険証は、扱い方が分からず手続きに時間がかかり正確さに欠ける、紙の保険証と両方持参するケースも生まれています。利用については選択できるように、検討してください。	マイナンバーカードの保険証利用登録は任意であり、現行の保険証は有効期限までご利用いただけます。なお、マイナンバーカードの保険証利用登録をされていない方へは、現行の保険証と同じようにご利用いただける「資格確認書」を発行する予定です。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
24	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	子どもの医療費助成の一部負担金を廃止も検討してください。今市の施策として高校卒業までの医療費が助成されていますが、子どもが少なくなっているいまだからこそ、街ぐるみで子どもの健康をささえるという自治体も増えてきています。実施済み自治体では、早期に受診・治療しやすくなるので、過剰受診が増えているということはない、という声も多く聞きます。ぜひご検討ください。	医療費助成制度の窓口での一部負担金については、受益と負担の適正化の観点から、一定の負担をしていただくことで持続可能な制度とするため大阪府が導入したものであり、府内共通の制度として実施していることから、他市町村との整合性の観点からも必要であると考えていることから、現在、一部負担金の廃止は考えていません。
25	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	乳児から安心して預けられるように、乳児用の無認可ばかり増やすのではなく、就学まで安心してあずけられる保育園・保育所の増設を。	今後の計画においては、私立幼稚園の認定こども園化の推進、既存施設の建替えに伴う受け入れ人数増加等、乳児から5歳児クラスまでの受入を行う施設の整備を基本として、待機児童の解消を目指す予定です。
26	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	「保育所に入れない」「兄弟姉妹バラバラの保育所になる」など切実な声を聴きます。	
27	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	乳児から安心して預けられるように0歳児から5歳児までの保育施設の増設を望みます。昨今増加している小規模保育施設では3歳児以降の保育施設探しに保護者は翻弄され、何より保育環境が変わることでは子どもにとって大きな負担となります。どの子にも就学まで継続された保育が保障されるべきです。	
28	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	保育園の先生の待遇も改善し、先生のなり手を増やしてほしいです。	国の処遇改善に加えて、市独自の施策として、処遇改善や保育所等職員の負担軽減を行っています。引き続き職員の処遇改善に努めていきます。
29	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	共働きの保護者が安心して働けるよう、子どもも安全に元気に過ごせるよう、そこで働く職員の働く条件も改善されるよう検討してください。	
30	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	保育士のなり手不足は深刻です。市として積極的な保育士確保のための施策を検討してください。	
31	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	年齢別保育の子ども1人当たりに対する保育士の見直しをして下さい。災害の時など乳児、例えば0才児3人対1人ですが、すぐには逃げる事ができません。	3～5歳児クラスの職員配置基準につきましては、令和6年度より国の基準が改善されました。また、1歳児クラスにつきましては、従前から市独自の施策として、職員配置の改善を行っています。
32	70	2-1-2 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	・保育所・学童保育に希望する所に入所できるよう枠を広げる工夫をしてほしい ・茨木市に住みたいと思えるような他市の人もうらやましがらうような自治体を!!	今後の保育需要の推移を予測しながら、次期子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育所等の受入人数の拡充、保育の質の向上に向けて取り組んでいきます。
33	70	2-1-3 乳幼児期の こどもがのびのびと 育つ環境づくり	保育所の充実	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
34	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育について、もちろん今後めざす姿の中に検討されていることと思いますが、施策番号がどこに相当するのかわかりませんでしたので、学校設備と関連し、ここに書かせていただきます。校区ごとの学童保育の格差を減らしてください。学校内(学校隣接)の施設・環境等、校区によって大きな差があります。共働き世帯や片親世帯も増えていく中、「1年生の壁」に直面するご家庭は増加傾向にあると思われます。安心して子どもを預けられる、働き続けられる体制を市が保障し、子育て世代に選ばれる茨木市を目指してほしいです。	
35	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	現在、学童保育室の形態は、学校により様々です。教室不足によりプールの更衣室が使用されたり、学校の教室を放課後のみ間借りし、翌日には現状復帰して移動しなければならない保育室もあります。又、複数教室では保育室が離れているところもあり、連携して年保育することも困難です。保護者の就労により学童保育のニーズは高まり、申込み人数も増える一方です。茨木市の学童保育に通う子どもたちが、校区により格差がなく、平等に安心安全な放課後が過ごせるよう、専用教室を整備してください。	
36	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育の子どもたちが安心してすごせるように、どの学業、どのクラスにも同程度の広さ、設備の整った専用教室を整備してください。	
37	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	4月から茨木学童保育室での勤務が始まって本当に更衣室が保育になってしまうのか。何とか学校側との折り合いが付いて、多目的教室や和室など使用可能な部屋が出てくると思っていたのですが、何度も「引越し」を繰り返し(これさえも信じられないことでした)9月からほんとに「更衣室、が学童保育室となってしまう、歩道橋を渡っての帰室など、子どもたちにとって、そして担当の先生方にとっても負担が大きく、不安な日々を戦ってらっしゃると感じています。本当に「ここで、子どもたちが心穏やかに、安心・安全な放課後を、また長期休暇などの長い一日を過ごすことができるのか、今からでももう一度考えて頂きたいです。学校との話し合いで学童保育室として使用出来る教室をしばり出して頂きたいです。通室には様々な問題があるかとは思いますが既存の茨木市の施設(おにクル、ワムホール・クリエイトセンターなど)が使用出来れば、と思います。	
38	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	保育条件の格差の解消が課題 茨木小学校学童保育室は5クラス215名の在籍です。1組46名、2組45名、3・4組合同クラス。1・2年生が、理科室で70名、準備室で21名、5組Aクラス・Bクラスで35名、プール更衣室で保育をしています。子どもが安全に、安心して過ごし、体調の悪い時等に、静養することのできる生活の場としての機能と遊びの活動拠点としての機能を備えた専用区画が必要とされた「場」が、5組にはない。 ・南校舎、北校舎、歩道橋の門の鍵を開けて、歩道橋を渡って5組プール更衣室での保育なので連携が取りにくい。 ・安全の面でも、雨の日傘をさし、ランドセル、水筒、手提げカバンを持って、せまく急な階段(一段が校舎の階段より高い)を滑らない様に、てすりも無い歩道橋を毎日何往復もするのは、子どもも、指導員も大変です。 ・専用教室を整備してください。	学童保育への需要が高まっており、希望される方が利用できるように場所の確保を図るとともに、安全な保育の提供に努めていきます。
39	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木市の学童保育に通う全てのこどもたちが公平に保育支援を受けることができるように専用の施設環境が整備されるようにしてください。	
40	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木市内の子どもたち全員が平等な保育を受けられるようにしてほしいです。 ・同じ学校内の学童保育施設で、生活環境が違いすぎるところがある。 ・こどもたちが、安心して生活できる生活環境を整えてほしいです。	
41	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	子どもが安心してすごしていけるように、学童の教室の整備をお願いしたいです。	
42	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育室の形態は様々で、プール更衣室が使用されたり、学校教室を間借りであったりします。複数教室で教室が離れているため、連携が取れずカバーしあう事もできません。プール更衣室への移動回数を減らすため、室内での遊びは合同とすると室内人数も増え、安心安全に過ごせません。	
43	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	職員を確保したうえで子どもたちが安心してすごせるように専用教室を整備し、茨木市全体の子ども達が平等に放課後をすごせるようにしてください。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
44	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木市の子どもたちが全ての学童保育室において専用の同等の施設で安心してすごせるような環境整備をしてほしい。学童保育の利用が高学年まで保障されるよう、そのための専用教室の確保と指導員の継続雇用、継続雇用につながる任期付指導員の身分保障につとめてほしい。	学童保育への需要が高まっており、まずは低学年で希望される方が利用できるように場所の確保に努めていきます。
45	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	子どもたちの居場所づくりとして、高学年の学童保育の利用が見通しがたない状況なら、おにクルなどを利用し居場所のない子どもたちの受け入れ、シェルター的な役割を担えるものを早急に検討してほしい。子どもたちを長い目で茨木市全体で見守っていただけるような施策を構築してほしい。	まずは、低学年におけるこどもたちの安全な居場所の確保に努めていきます。
46	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育の子どもたちが安心して過ごせるように、プールの更衣室の保育室としての使用はやめ、どの教室も専用教室を用意をして、一教室の定員を30人以下に引き下げてください。	
47	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	支援児も増え、広い教室で支援児保育をしていると皆と別な対応をするのは難しい事もあります。学校は支援クラスがあるので、学童保育でも保育体制を考えて欲しいと思います。支援児加配を付ける。クラスに何人などで対応。支援児もホッとできる放課後の居場所が欲しい!!	
48	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木学童保育室5組では1年間に5回も教室を移動しており、現在はプール更衣室を間借りしており、下記の問題点があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・窓が手の届かない高い位置にしかない。 ・出入口が一方方向にしかない。 ・室内に防犯ブザーも火災報知器もない。 ・敷地内に非常出口がない。 ・わずか畳三畳ほどのスペースに18人の児童がすごしている。 ・陸橋をわたらないと登室できない。 これらの問題点を改善し、安心安全に子どもたちを育むことができるよう、より良い環境づくりを要望します。	条例上の基準をもとに、こどもたちの安全に配慮しながら適切に運営していきます。
49	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育室での環境づくりとして茨木市のこどもたちが平等で安心、安全な一クラスの定員を減らし、十分にこどもたちと向き合い関わりを持てるような環境で過ごすことができる保育室を目指してほしい。	
50	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育の子ども達が、安心して過ごせるように、プール更衣室の保育室としての使用は止め、どの教室にも専用教室を整備し、どの教室にも、同等の環境を子ども達に、あたえてください。一教室の定員を、30人以下に引き下げてください。	
51	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	教室の広さに対してこどもの人数が多すぎます。「おおむね」とはいえ、学童のクラス(5クラスのところもある)全てが45名以上となっており、「生きる力と豊かな感性が育れる」クラス運営に取り組める環境ではありません。環境という面では茨木学童は、1,2組のみ普通の教室、3・4組は合同の間借り、5組はプール横更衣室改修教室(2教室)という紙面に書ききれない大変さがあります。環境面を整えてからこどもの受け入れをお願いします。生きる力と豊かな感性を育むには指導員の資質や指導員をとりまく環境も大切です。	条例上の基準をもとに、こどもたちの安全に配慮しながら適切に運営していきます。
52	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	また、長期休暇中の学童児童の昼食に対応しはじめる自治体も出てきています。小学校の給食室または新しい給食センターなども活用して、長期休暇中の学童児童保護者の負担を軽減することも検討してください	アレルギーへの対応等、多くの課題があるため、今後、こどもたちの安全な保育の提供を前提に研究していきます。
53	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	長期休暇中の学童保育の昼食を、小学校の給食室または新しい給食センターなども(給食センターなども)活用して、対応してください。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
54	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	2-2-5教育(学童) 学校によっては部屋が定着していなくて子供たちが落ち着いて過ごせない環境のところもあります。学校を終えて、もう一つ違う集団で過ごす子どもたちが安心して過ごせるよう、保護者も安心して働けるよう、設備と職員を確保してください。	学童保育への需要が高まっており、希望される方が利用できるように場所の確保を図るとともに、安全な保育の提供に努めます。また、今後も必要な職員数の確保に努めていきます。
55	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木市の学童保育指導員の不足、深刻な人手不足と現場で感じます。子ども一人、一人に対して向き合いたくても同時に3人～4人と対応が出来ず待たせてしまったり、目が行き届かない事が多々あるように思います。働く職員の確保、従事者定着の為の任期付き短時間勤務職員及び会計年度任用職員という雇用形態を変えていって頂きたいです。正規常勤職員配置化、専門職にふさわしい賃金水準に引き上げて指導員不足を解消し、保育の質を確保し、茨木市に通う子どもたちが平等に安全な放課後を過ごせるよう人員配備をお願い致します。	今後も必要な職員数の確保に努めるとともに、任期付短時間勤務職員の給与等勤務条件については、本市の条例等に従って適切に対応していきます。
56	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	茨木市の学童保育の指導員不足が深刻な状況です。背景には短時間、任期付、会計年度任用という不安定な雇用形態に問題があります。雇用が安定していないということが指導員不足を引きおこし、ゆくゆくはそのことが子どもたちにとって安心・安全であるはずの保育環境にも大きな影響を与えています。学童で働く職員の確保、安定して働けるように任期付制度をなくし、処遇を改善してください。	
57	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	現在茨木市の学童保育の指導員不足は深刻です。背景には、短時間勤務職員及び、会計年度任用職員という雇用形態に問題があります。指導員の雇用に関して、長期的に安定した形態となるよう、正規・常勤職員配置化専門職にふさわしい賃金水準に引き上げて、指導員不足を解消し、保育の質を確保し、子どもにとって、安心、安全な、学童保育の環境を整えてください。	
58	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	現在茨木市の学童保育の指導員不足は深刻です。背景には短時間勤務職員及び会計年度任用職員という雇用形態に問題があります。指導員の雇用に関して長期的に安定した形態となるよう、正規・常勤職員配置化専門職にふさわしい賃金水準に引き上げて、指導員不足を解消し保育の質を確保しなければ、子どもにとって安心安全な居場所にならないし、保護者にとっても安心して預けれる学童保育の環境を整えてください	
59	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	任期付指導員の欠員が多く、年度途中で辞めてしまうこと、それにともない、残る指導員の仕事の負担が大きくなり、そのために残った人が疲弊し、その人たちが辞めてしまうという負のスパイラルとなっています。主任指導員の仕事内容にも問題があり、内容が多すぎます。こどもたちを受け入れるばかりではなく、指導員の環境を整えてからにしてほしいです。長期休みの一日勤務の協力要請も、しなければならぬ感覚になる人もいて、もはや短時間勤務職員とは言えません。そうするのであれば、正規の職員とし、給与面、退職金も考慮し、若い人たちが長く続けることができる職業にしてほしいです。	
60	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	また、指導員不足も深刻化しています。毎日、同じ指導員が安定的に専門性を持って、こどもたちの保育、支援に当たることができるように指導員体制の整備をしてください。	今後も必要な職員数の確保に努めていきます。
61	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	・働く指導員が欠員になっている中での保育にも、危険、支障があると思います。働く指導員が、安心して働ける環境を整えてほしいです！	
62	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	同じ指導員の先生が子どもを見てもらえるような環境にし、欠員をなくしてほしいです。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
63	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育で働く職員の確保・定着のために、学童保育指導員の任期付短時間勤務制度を直ちになくし、賃金水準を保障されるように処遇改善してください。(1日保育の子どもたちと一緒に食べているお弁当の時間を勤務として認めてほしい。15分カットをしないでください。)	任期付短時間勤務職員の給与等勤務条件については、本市の条例等に従って適切に対応していきます。
64	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	学童保育指導員は専門職だと思いますが、雇用形態や賃金に関しては働き方に見合っていないと思います。長く続ける人を増やし、保育の質をあげるためにも、専門職にふさわしい形態にしてください。	
65	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	加配指導員は補助員。放課後児童支援員認定資格研修を受けたからといって任期付の仕事である。業務日誌を保育時間内に記入したり、出欠席確認(ノート)をするなら、時間外、残業を認めてください。職員は健全な心身を有し、ストレスになる事は取り除き、支援に従事したいです。	
66	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	指導員の任期付制度をなくし、保育の質を確保し、命を預かり働いている専門職として認めて安定した職にしてください。	
67	71	2-1-3 生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくり	小学生の子ども達の居場所(学童保育室)遊び場所(公園・ボール遊び可能な場所)も少なくなっていて子育てのしやすい町にする為には上記の様な場所を増やしてください。	小学生の子ども達の居場所の一つであります学童保育室につきましては、入室児童数の見込みにより教育委員会・小学校と連携し、場所の確保に向けて協議していきます。 公園につきましては、地域の要望を聞きながら、再整備を進め、市民ニーズに合致した「使われ活きる公園」づくりを進めます。 なお、本市の子ども・子育て施策につきましては、総合計画の分野別計画である「茨木市次世代育成支援行動計画」に基づき、子ども達の居場所や遊び場所も含め、検討を行い取り組んでいきます。
68	72	2-1-5 支援が必要な子ども・家庭を含めた子育て家庭を、社会全体で支援できる環境づくり	支援が必要な子どもに対する早期療育体制は喫緊の課題と考えます。現在支援を必要とされる子どもを受け入れる医療機関は限られていて、受診につながるまで時間がかかっているのが現状です。医療機関・相談機関の充実は求められています。加えて、専門的な療育を提供できる施設整備も市の責任で整えていただきたいです。現在保育施設に通っている子どもに関しては、市の心理士による巡回相談が受け皿になっていますが、その体制ももっと強化してほしいと感じています。	乳幼児健康診査や保護者の相談等から療育へつなぎ、対象児童及びその家族への専門的な支援が早期に実施されるよう、また、市の心理士による巡回相談が、よりご利用していただきやすくなるよう、体制整備に努めていきます。
69	72	2-1-5 支援が必要な子ども・家庭を含めた子育て家庭を、社会全体で支援できる環境づくり	支援が必要な子どもに対する早期療育体制は喫緊の課題と考えます。現在支援を必要とされる子どもを受け入れる医療機関は限られていて、受診につながるまで時間がかかっているのが現状です。医療機関、相談機関の充実は求められています。加えて、専門的な療育を提供できる施設整備も市の責任で整えていただきたいです。現在保育施設に通っている子どもに関しては、市の心理士による巡回相談が受け皿になっていますが、その体制ももっと強化してほしいと感じています。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
70	73	2-2 教育	小中学校の全学年30人学級をめざすべき姿のひとつに入れてください。「確かな学力」「豊かな心」「非認知能力」の育成にも、学習環境の保障のためにも、指導は配慮の行き届く教室のためにも、少人数化は必須です。そのためにも独自で先生を増やし、よりきめ細やかな教育環境・学力底上げの実現を市でおすすめてください。	国による小学校35人学級編制が令和7年度で終了する状況ですが、市としては、引き続きスクールサポーター等の人的配置により、よりきめ細やかに対応していきます。
71	73	2-2 教育	小中学校の全学年30人学級を、めざすべき姿のひとつに入れて下さい。確かな学力」「豊かな心」「非認知能力」の育成には少人数学級は必須だと思います。支援の必要な子が増えている実状から考えると少人数のクラス編成は重要な手だてのひとつではないでしょうか。そのために、独自で先生の増員を行い、よりきめ細やかな教育環境・学力底上げの実現を市ですすめていただきたい。	
72	73	2-2 教育	小中学校の全学年30人学級をめざしてください。「確かな学力」「豊かな心」の育成にも行き届いた教育が必要です。教師の働き方改革は一人あたりの仕事を減らさないと実現できません。子ども達のためにも教師のため少人数学級実現は必須です。	
73	73	2-2 教育	コロナ化で密をさけるために行われ、先生も、ゆったりと授業ができたと聞いています。子どもが楽しく学べる学校をつくるためにも少人数学級を実現して下さい。せめて30人学級をめざして下さい。	
74	73	2-2 教育	未来の社会を支える子どもたちに小人数学級	
75	73	2-2 教育	生きる力と豊かな感性が育まれる環境づくりについて、要望がございます。 ○校区危険箇所報告をオンライン化してほしい 現在、地区委員が危険箇所を報告し、地区委員長が資料をまとめて、市に提出しています。 地区委員長の負担が大きいため、市で危険箇所報告フォームなどを運用し、地区委員がオンラインで投稿できるような方法の導入をお願いします。	危険箇所については学校が保護者の方々と共有することが大切であると考えていますことから、現状の対応をお願いします。
76	74	2-2-1「確かな学力」の育成	<p><追加してください> 【現状と課題】 本市では年度当初から「担任の先生がいらない」という状況が数年続いており子どもたちの学力向上にあたって深刻な影響を与えています。何よりも「担任の先生がいらない」という状況の解決が急がれます。「確かな学力」の向上にあたっては、少人数学級の実現が大切です。他府県また大阪府内でも独自に少人数学級を実現している行政があり、それぞれが子どもたちの豊かな学力向上に繋がっています。本市でも独自に少人数学級の実現が望まれます。</p> <p>「めざすべき姿」 <追加してください> 何よりも子どもたちが安心して学べる教育環境をつくることをめざします。また確かな学力・学ぶ喜びのある学校をめざします。</p> <p><削除して追加してください> 【取組むこと】 子どもたちが安心して学びあえるように「担任の先生がいらない」状況をなくします。子どもたちにわかる喜びを育むために茨木市独自で少人数学級の実現に取りみます。全国学力学習状況調査については、自治体の点数アップ競争が子どもたちや先生を追い詰めることになっており、自治体によっては参加の形について見直すところまで出ています。本市でも全国学力学習状況調査の参加については「参加見直し」を検討します。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、今後もスクールサポーター等の人的配置により、きめ細やかな対応を行っていきます。また、全国学力・学習状況調査については、その結果から見える成果や課題を分析検証し、授業改善等につなげていきます。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
77	74	2-2-1「確かな学力」の育成	毎年行われる全国学力・学習状況調査などによるテスト漬け、管理と競争の教育から脱却し、教職員の自由闊達な創意工夫による授業改善を促し、そのための条件整備をすすめます。	学習指導要領に示されている資質能力を育成するために、教員それぞれの創意工夫をいかしながら、授業改善を促し、自己研鑽を行いやすくする環境づくりを進めていきます。
78	74	2-2-2「豊かな心」の醸成	<p><追加してください> 【現状と課題】 2023年10月の文科省の発表による全国的に過去最多となった「不登校」「いじめ」「校内暴力」などの子どもたちは大きな「生きづらさ」を抱え、学校生活を送っています。コロナ禍を経て子どもたちの「生きづらさ」はより厳しくなっています。本市における「不登校」「いじめ」「校内暴力」の現状を明らかにし、子どもたちの尊厳を大切にしたいねいな指導・支援が求められます。</p> <p>【めざすべき姿】 子どもたちの「いじめ」や「校内暴力」「不登校」など学校生活の中での生きづらさを減らし、どの子も豊かに楽しく過ごせる学校をめざしています。</p> <p>【取組むこと】 「不登校」「いじめ」「校内暴力」の実態を把握し、必要な支援に取り組みます。SCを市内の各学校に市独自予算で配置し、また必要に応じてSSWも市独自予算で増員します。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、こどもたちを取り巻く問題が多様化・複雑化する中で、いじめ、暴力行為、不登校の問題に対応するため、国からの補助も活用し、SC、SSW等専門家を配置し、支援を行っていきます。
79	74	2-2-2「豊かな心」の醸成	<p><追加してください> 【現状と課題】 また「子どもの貧困」の問題や「ヤングケアラー」の問題も実態を丁寧に調査し、子どもたちが「子ども期」を楽しく豊かに過ごすことができるように支援が必要です。</p> <p>【めざすべき姿】 また「子どもの貧困」「ヤングケアラー」など家庭の事情で豊かな学校生活を送りにくい子どもたちに手厚い支援を届けます。</p> <p>【取組むこと】 「子どもの貧困」「ヤングケアラー」問題の調査もいねいに行い必要な支援に取り組みます。またすでに市内で取り組んでいる「子ども食堂」などへの継続的支援を続けます。</p>	当問題は、「2-1子育て」の施策でお示しており、当取組の記載内容は原案のとおりとします。なお、「こどもの貧困」や「ヤングケアラー」の問題につきましては、これまでに実態調査を行い、総合計画の分野別計画である「茨木市次世代育成支援行動計画」に位置付け、取り組んでおり、「こども食堂」も含め、関係機関と支援連携しながら、取り組んでいきます。
80	74	2-2-2「豊かな心」の醸成	<p><追加してください> 【取組むこと】 子どもたちの校外学習や文化・芸術に親しむ体験活動への助成を大幅に増やし、子どもたちの負担金をなくします。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、こどもたちの校外学習や文化・芸術に親しむ体験活動の充実を図ります。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
81	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	<追加してください> 【取組むこと】 災害避難時に体育館などを利用するときは、子どもたちの「健やかな体」の育成が犠牲にならるように、仮設住宅の建設など最大限の取り組みを進めます。	防災対策については施策4-1で取り扱うため、2-2-3については現行の記載とおりとします。なお、災害時には行政を中心に関係機関等と連携し、速やかな応急復旧・復興対策に取り組んでいきますが、日頃から市民の皆さま一人ひとりにおいても自助として、防災・減災対策を進めることが、結果として小中学校等において早期に教育活動等の再開に繋がるものと考えています。
82	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	<追加してください> 【めざすべき姿】 長年の願いであった無償での中学校給食が実現に向かっていきます。小学校の給食の無償化をめざします。 【取組むこと】 実現する中学校給食の「安全・安心、美味しい給食」をめざします。小学校給食の無料化を実現します。	現在のところ、小学校給食費の無償化の考えはありませんが、学校給食にかかる負担軽減は、少子化対策にも資する総合的な取組であるため、国の施策として実施するよう、引き続き国に要望していきます。
83	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	小学校給食の無償化	小学校については、現行の自校方式を継続し、小学校給食調理業務の民間委託については、経費の削減と合わせて直営で培った経験と民間業者が有するノウハウを活用して、より豊かな学校給食の提供が可能であると判断しており、今後も衛生管理の徹底や安全性の確保を最優先に、市の管理責任の下に進めていきたいと考えています。
84	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	小学校給食も無償にしてください。小学校給食は、今以上の民間委託は増やさず自直営方式を存続してください。栄養教諭の全校配置をお願いします。	給食への地元食材の使用については、農業振興担当課と連携し、関係団体等と協議をすすめ、一定量の確保が可能なものについては、全量でなくても、積極的な使用を検討していきます。
85	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	中学校給食無償化に続いて小学校も無償化を検討してください。生きる基本の基を児童全員に市の任として保証してください。給食の材料に地元の食材を使うことはよい学習となるので、さらに活用してください。	栄養教諭及び栄養職員の配置については、国が定める法に基づき配置しています。市独自加配による全校配置については考えていませんが、食育の推進やアレルギー児童への対応などについて、栄養教諭の必要性は認識しており、引き続き国・府に対し、要望していきたいと考えています。
86	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	学校給食の無償化し健全な心身を作ることこそが希望ある社会、人材が育つと思います。	
87	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	学校給食について。小中学校の給食では、成長期の心と体を作る栄養としてだけでなく、正しい食習慣や知識、食と文化、流通や環境・科学など、総合的に人間力を育てる「食育」と位置づけて、さらなる活用を望みます。そのためにも、小学校給食はこれ以上民間委託しないようにし、自校直営調理方式を存続してください。また、栄養教諭のついていない学校もあります。市独自加配も行い、栄養教諭の全校配置をお願いします。また、来年から中学校全員給食が無償で始まりますが、小学校給食も無償化を検討してください。義務教育は全国どこでも無償に、安心して学べる、子育てできる環境の実現をすすめてください。	
88	105	5-2-1 農林業の振興	茨木市の農業振興に、「特産品の栽培」とありますが、給食の地産地消費も加えてほしいです。子どもたちの地元への理解にもつながります。茨木産の米は小学校で使っていますが、野菜をもっと取り入れてほしいです。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
89	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	子供の成長に合わせて生理用品など子供が使いやすいように工夫して設置してください。	児童・生徒が必要などときには生理用品を保健室で受け取れることの周知や、受け取りやすい環境づくりに努めていきます。
90	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	(トイレ洋式化と)同時に、トイレ個室への生理用品の設置もすすめてください。貧困対策のみでなく、女子児童生徒の衛生・健康問題として、安心して通える環境を保障してください。また長い目で、ジェンダー平等教育、身近な性教育として、子どもたちの情操にも役立つはずです。	また、生理用品については、ただ渡すだけではなく、その機会を捉えて、生活状況の把握が必要であり、そのことが、安心して学校生活を送ることにつながると考えています。
91	75	2-2-3 「健やかな体」の育成	(トイレ洋式化と)同時にトイレ個室への生理用品の設置もすすめてください。貧困対策だけでなく女子児童・生徒の衛生・健康問題として安心して通える環境を保障してください。保健室に行って貰うのではなくトイレに置いてあることが必要なのです。	トイレ個室への生理用品の設置は、社会情勢等を鑑み、研究する必要があると考えています。
92	75	2-2-4 学校支援体制の充実	不登校や課題のある家庭への支援体制について。取り組むことの中身が近隣大学や民間等に頼る形になっており、市の施設での支援・学校での支援の充実という点が見られないのが残念です。例えば中学校における「別室登校」の有無も学校ごとに差があり、別室でも登校でき、進学もできた子どもたちは学校対応を評価しており、保護者もよろこんでいます。そういった事例は市教委で共有・研究されているのかと疑問です。子どもや家庭の抱える困難も多様化しており、受け皿にも多様性が求められています。教職員等の職場環境整備はもちろんですが、ただ研修数や相談員の相談件数を増やせばいいというのではなく、余裕と技能ある人員の育成(安定雇用と教育)や確保、学校における受け皿の多様化(選択肢の多様化)も平行して実現させてください。	今後も教育課題に応じた人材の育成と確保に努めていきます。学校における居場所の多様化につきましては、引き続き、茨木市不登校児童生徒支援室の充実を図るとともに、フリースクール等と連携し、学校の出席扱いにする等、多様な居場所づくりを推進していきます。
93	75	2-2-4 学校支援体制の充実	<p><追加してください></p> <p>【現状と課題】 各学校でとりくまれている「別室」による不登校支援は、教室には入れないけれど「別室」なら行けるという子どもたちの大切な居場所となっています。ただ「別室」支援を続けるための人的支援などは各学校に任せられた状態になっています。</p> <p>【めざすべき姿】 文部科学省の不登校支援「COCOLOプラン」の中で謳っている「校内別室」が、どこの学校にもあり、子どもの尊厳を大切にされた支援がとりくまれていることをめざします。</p> <p>【取り組むこと】 不登校気味な子どもたちや、教室には行けないけど「別室」には行ける子どもたちにとって文部科学省の不登校支援「COCOLOプラン」の中で謳っている「校内別室」の支援は大切な居場所となっています。担当教員・支援員の確保など、茨木市独自で「別室」への支援体制を強化します。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、不登校児童生徒が安心して学べる場所を確保することは非常に重要であり、各校で、校内教育支援ルームの設置や定期的な家庭訪問、教員以外にもスクールサポーターとの関わり、教育センターのふれあいルーム等で、社会的自立を促していきます。
94	75	2-2-4 学校支援体制の充実	学校に行きたくない子ども、不登校児童が年々ふえています。フリースクールの様な子どもが行きやすい場所を茨木市内で作ってほしいと思います。	不登校児童生徒への対応として、今後もふれあいルームの活用を促すとともに、各フリースクールとも連携していきます。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
95	76	2-2-5学校施設の計画的な整備・充実	<p><追加してください> 【現状と課題】 学校施設・設備の改修時に、子どもたちの健やかな体を育成する運動場・体育館・遊具・プールなど点検・更新が求められます。 【取組むこと】 運動場・体育館・遊具・プールの完全点検改修・更新に取り組みます。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、トイレ洋式化、エレベーター設置、校舎外壁・屋上防水改修、外周塀改修、プール改修、小学校遊具更新等、学校施設の計画的な点検・整備に努めていきます。
96	76	2-2-5学校施設の計画的な整備・充実	<p><追加してください> 【取組むこと】 熱中症対策としてできることを研究します。例えば運動場に散水できる場所を作る、ミストにかかることができるスペースを作る、運動場に木陰のスペースを作るなど。体育だけでなく飼育栽培活動や芸術活動で教室の外で学習する時の熱中症対策も含めて研究します。</p>	記載内容は原案のとおりとしますが、老朽化する施設・設備の改修・更新の際には、社会環境や気候変動の影響等を踏まえ、環境負荷の低減や、自然との共生等を考慮した学習環境を整えていきます。
97	76	2-2-5 学校施設の計画的な整備・充実	校舎の長寿命化に見合った教室の中など内装のリニューアルを進めると共に、自然エネルギーを活用し、高断熱などエネルギー効率の良い環境に優しい校舎への建て替えを計画的にすすめます。	老朽化する施設・設備の改修・更新の際には、社会環境や気候変動の影響等を踏まえ、環境負荷の低減や、自然との共生等を考慮した学習環境を整えていきます。
98	76	2-2-5 学校施設の計画的な整備・充実	小中学校のトイレの洋式化を急いでください。	小・中学校においては、トイレ洋式化に加え、小便器・手洗いの自動水栓化、自動照明化、給排水管の取替、床の乾式化を計画的に進めることで臭気などの衛生面を改善し、教育環境の向上を図ります。
99	76	2-2-5 学校施設の計画的な整備・充実	小中学校のトイレの洋式化を急いでください。学校のトイレが使用できなくて家まで我慢をする子どもがいます	
100	76	2-2-5 学校施設の計画的な整備・充実	小中学校のトイレの洋式化(遅れる～)等々、市民にとっての本当の福祉を実施して欲しいです。	
101	76	2-2-5 学校施設の計画的な整備・充実	家庭では洋式トイレが当たり前になっており、学校でも少しでも早く洋式になるよう進めてください。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
102	76	2-2-6教育情報化の推進	<p><全文訂正してください> 【現状と課題】 国連「ユネスコ」は2023年の世界報告書の中で、ICT教育について大きな警鐘を鳴らしています。特に日本より10年も早く前から1人1台の端末やデジタル教科書を使ってきた国々の子どもたちの「読み・書き・計算能力の学力低下」が深刻な問題となり、スウェーデン・フィンランド・ニュージーランド・オーストラリアの国々をはじめICT先進国では、端末やデジタル教科書の使用を厳しく制限し、紙の教科書・ノートに鉛筆を持って学習するように国全体で取り組んでいます。またアメリカ・フランス・イギリス・オランダ・スペイン・ポルトガルなど世界中の国々で、パソコン・タブレット・スマートフォンなどモバイルデバイスの「学校での使用禁止」も広がっています。これらへの対応が日本は大変遅れているところか、文部科学省や教育委員会は「端末の活用状況調査」を行い、使用することを競わせています。本市としては、子どもたちの基礎学力をしっかりと身につけさせるために、先進国の取り組みに学び、日本が本来大切にしてきた「読み・書き計算」の力を、端末の使用によって落とすことがないように十分に研究していきます。 <追加してください> 【めざすべき姿】 子どもたちの学力向上のため、紙の教科書・ノートに鉛筆を持って学習することを大切にしていきます。ICTの学校での活用は、子どもの成長・発達と教師の専門性を大切にした「教育の未来を拓く」ものをめざします。 <追加してください> 【取組むこと】 文部科学省や教育委員会がおこなっている「端末の活用状況調査」を止め、使用することを競うことをしません。世界の端末使用先進国の研究をしっかりと学び、学校での使用の問題点を本市として研究します。また子どもたちの日常のスマホの利用についても、いじめなどの拡散に繋がったり、中毒性のある使用の仕方になっていないか研究を進めます。</p>	<p>記載内容は原案のとおりとしますが、ICTを使用したこどもの学びについて、使用することが目的とならないよう今後も研究します。 また、タブレット導入の成果については、さまざまな観点からこどもが成長した力を見とっていきます。 本市ではICTの学校での活用により、デジタルならではの強みを活かして子どもたちの生きる力の育成をめざします。</p>
103	76	2-2-6教育情報化の推進	<p>小学生にタブレットの授業が始まり、時代の流れと受けとめましたが、世界ではタブレットを導入した結果学力が下り、使用をやめる国があるそうです。たしか、スウェーデン、ノルウェー？ 茨木市でも、タブレット導入した成果を調査してほしいです。</p>	
104	93	4-1-2 災害応急・復旧・復興対策のための事前対策	<p>大災害を見据えた備蓄・施設準備等も充実が必要であると思います。食料備蓄もちろん、女性やジェンダーへの配慮や、弱者への配慮、そして最もトイレ等の衛生施設が肝心になってくると思われれます。現在復興が遅れている能登地方でも、避難所でのトイレの悲惨な状況が問題になっています。これこそ我慢とか根性とかでなんとかなる施設ではありません。ライフラインが止まった場合、いの一歩に対応が必要になる施設です。ぜひ、市でも相応の計画をたてていくなど、検討課題としてもりこんでください。</p>	<p>4-1-2には、総合的防災体制の整備として、防災資機材の整備・備蓄や、ライフラインの予防対策が含まれており、近年の災害対応の経験を基に、大阪府及び府内市町村では、災害時のトイレ対策を強化するため、災害用トイレの備蓄の増強等の取組みを進めています。本市としては、今後も災害用トイレ対策に引き続き取り組むとともに、上下水道の耐震化などの防災・減災対策を計画的に進めていきます。</p>
105	100	4-3-2 消費者教育の推進	<p>【取組むこと】 「消費者教育推進法に基づき、消費者行政と教育行政の連携が重要である。よって、学校における消費者教育を徹底強化されたい。</p>	<p>今後も小中学校において、特別の教科道徳や家庭科、社会科の授業を通して進めていきます。</p>

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
106	100	4-3-2 消費者教育の推進	賢い消費者として自衛し、環境に配慮していくなどの知識はこれからさらに市民に求められていきます。縦割りではなく、子育て・教育・福祉・高齢者など各セクションが密に連携し、全年齢層に消費者教育が行き届くよう推進してください。特に、忙しい子育て世代へは、保育・教育機関から情報が伝わるよう、保育施設・学校での工夫した消費者教育の展開と、保護者会等での積極的な研修の開催等、提案・推進をすすめてほしいと思います。高齢層は福祉セクションや自治会との連携を強め、若年層はネット活用や高校・高等教育機関にも働きかけるなど、積極的な働きかけを期待します。	ご意見を踏まえ、関係機関や地域団体などと協力し、包括的かつ持続的な消費者教育を推進していきます。
107	101	5-1 交通	茨木亀岡線46号線の工場地帯の道が整備されていない。非常に危険な道です。	茨木亀岡線は大阪府道ですので、大阪府へお伝えします。
108	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	生涯学習施設について。市内各地での多様な講座の開催等、とてもありがたいと思っています。ただ、中心となる「生涯学習センターきらめき」「中央図書館」への移動手段が大変かぎられており、最近バスも減便され、とても利用しづらいという声が多くあります。市内循環バスなどの創設で、こういった施設への移動をスムーズにし、利用できる市民をもっとふやしてほしいと思います。	路線バスなど、既存公共交通の利便性の向上をはじめ、移動しやすい交通環境の整備に向け、今年度策定する総合交通戦略に基づき検討していきます。
109	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	市内中心部にいろいろな施設が集中させる施策をすすめるのであれば、そこまでの市民の足を保障してください。バスの便数がへり、運賃があがって、より高齢者などの外出が困難になっています。免許返納も促し、健康維持のためにも、外出しやすい環境は必要です。敬老バスやコミュニティバスの運行も検討してください。市内の施設で、一部たいへん利用しづらいものもあります(中央図書館やきらめきなど)。循環バスを創設し、すべての世代がいきいきと「主体的に活動」できるよう検討をお願いします。同様に、いばきたの整備についても、幅広い年齢層・地域層が参加しやすいよう交通機関の拡充と併せての推進をお願いします。	
110	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	市内中心部にいろいろな施設を集中させる施策をすすめるのでしたらそこまでの市民の足を保障してください。バスの便が減り運賃が上がって私達高齢者などの外出が困難になっています。敬老バスやコミュニティバスの運行をぜひ実施してください。市内循環バスを走らせ中央図書館・きらめきなどを利用しやすくし、皆が生き生きと暮らせる茨木になるような計画を検討してください。	
111	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	路線バスがいくつかなくなったり、減便されている地域あります。公共交通としての役割(環境など)を再考していただき市費の投入を望みます。交通機関の充実はとりわけ高齢者の生活に大きく関与しています。外出の機会減少は認知機能の低下につながることは周知のこととなっています。広い意味での市民の健康増進のためには公共交通機関の充実を求めます。	
112	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	路線バスの減便で行きにくい「ダムパークいばきた、せつかく立派な建物「おにくる、が出来たけれどバス代が高く利用できない山間部の方たち。(この方たちの税金を使われているのです)病院に行くのにタクシーを呼んでも来ない。本当に困っています。※市はコミュニティバスの運行やバス代の補助、真剣に考えて欲しい。市街地の活性化にもつながると思います。	
113	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	高齢化が進み免許の返納や歩き・自転車等での移動が出来なくなり、バスを利用すると、減便、バス代の値上げなどで不便を感じます。タクシーを呼ぶときにはアプリを使って呼び出すなど不慣れなこともあります。高齢者の人に市の取り組みとして割引券の発行を検討してください。また、私たちの住む白川から乗り継いでいかなければならないところは、(中央図書館やきらめきなど)さらに、バス代もかかります。気軽に行きたいところに行けるよう、乗り継ぎ券など市の補助など検討してください。	
114	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	今年も路線バスの値上げもあり、減便された地域もあります。タクシーも電話で呼びにくい状態が続いています。地域住民の高齢化や免許返納の推進においても、市費を投入して公共交通の拡充をすすめることが市民から強く求められていると思います。今車を所有し共働きで子育てしている世代からも、住んでいる地域での公共交通手段減少に先々の不安を感じる声が聞こえています。公共交通機関の充実、どの世代も望んでいます。ぜひ、茨木のどの地域に住む人も長く安心して住めるよう改善をすすめてください。	
115	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	今年も路線バスの値上げ、大幅な減便があり、とても不便を感じています。タクシーを呼ぼうにも何時に行けるかわかりませんと返答され、本当に困っています。市費を投入し、コミュニティバスを循環させるなど公共交通の拡充を進めてください。	

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
116	102	5-1-1 公共交通を中心とした、人と環境にやさしい交通環境の構築	道路が狭く歩行者と車がぶつかりそうになったり路面のでこぼこで転びそうになったりすることがあり整備を早めるよう計画してください。	歩行者が安全に通行できるよう、舗装を新しくしたり、段差をなくす整備を順次進めています。
117	103	5-1-4 駐車場・駐輪場の適正化	各駅近辺での駐車・駐輪が困難です。公共交通機関の整備が十分でないと余計に車・自転車での移動にかたよりがちです。阪急茨木市駅東口の大きな駐輪場も閉鎖されることになり心配です。各駅周辺の駐車場・駐輪場整備を早急をお願いします。放置自転車の台数を適正化の指標にされていますが、子育て世代やシニア世代にもやさしい自転車置き場の整備もご検討ください。前輪ロック式の駐輪場や、ベルトコンベアでの上下移動は、高齢になるとさらに厳しくなります。新しい駐輪場には自転車であがれるエレベーターの設置をお願いします。	新たに駐車場・駐輪場を建設する予定はございませんが、既存の駐車場・駐輪場の車種等の変更や民間駐車場との連携により適正な運用に努めます。また、子育て世代やシニア世代のみなさまなどには、専用のスペースを用意するなど利用環境の改善にも努めていきます。
118	105	5-2-1 農林業の振興	茨木市の農業振興に、「特産品の栽培」とありますが、給食の地産地消化も加えてほしいです。教育セクション・JAとの連携でさらに地域農業を推進し、農業従事者の収入安定につなげていってほしいです。	地産地消の推進には、需要に応じた供給が可能な担い手が必要であることから、農林業の振興の観点としては、まずは担い手の確保及び生産基盤の確立、高収益が見込める特産品の栽培等の取組みの支援を進めるものです。
119	109	5-3-1 計画的な土地利用と市街地・拠点整備	<5-3都市計画> 5-3-2、5-3-3以外にも関連すると思いますが、茨木全体の交通の道路が計画的でないと思います。阪急茨木市駅からJR茨木駅までのメインストリートがせまいうえに、商店関連の路駐が多く、危険です。更に阪急から中村町先鋒橋に至るバス通りが狭い。大型バスから自転車まで、あらゆる種類の車輛と人の歩行もある。ある時、歩行者がバスをよけるため、誤って縁石につまずき溝にころげ落ちるのを目撃した。なのに、新たにビル、マンションを建設する時、道路際まで建てられている。建築許可を下ろす時、未来に道路を拡張するためのスペース確保の道路計画をあらかじめ決めておくべきではないか。今からでも遅くない。このような道路が市内の外にもないか見直し調査し、是非計画を立てて欲しいです。	市内幹線道路の計画的な整備を進めるとともに、歩行者や自転車が安全に移動できる道路環境を形成していきます。
120	109	5-3-2 魅力ある中心市街地の整備	【取組むこと】 「認知症の人にも優しいデザインの駅前広場」を建設してもらいたい。	障がいの有無に関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した駅前広場の整備に努めていきます。
121	111	5-3-5 緑のまちづくりの推進	公園を整備したり、学校の校庭開放を増やしたりして、子どもたちの居場所の確保をお願いします。また、子どもがボール遊びできる場所がなくて困っているという地域もあります。野球は無理でも、小学生などがキャッチボールやボール蹴りなどできる場所がほしいです。	
122	111	5-3-5 緑のまちづくりの推進	①校区内に広い公園を作ってほしい 穂積小学校校区には、高学年の子どもたちがボール遊びや走り回れる広い公園がなく、小学校の校庭を開放していただいています。しかし、小学校の職員会議の日などは校庭開放がなく、子どもたちが外で遊べる場所がありません。岩倉公園や春日丘公園のような、子どもたちが存分に体を動かして遊べる環境づくりをお願いします。	地域の要望を聞きながら、公園の再整備を進め、市民ニーズに合致した「使われ活きる公園」づくりを進めます。

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
123	111	5-3-5 緑のまちづくりの推進	<p>5-3-2魅力ある市街地の整備、5-3-5緑のまちづくりの推進についての私の意見 それらの項目では、「使われ活きる公園」をめざすとか、「緑陰を考慮したみどり空間等の確保に務める」とか書かれてあります。また、最近のおにクルの東側の桜の伐採は「元茨木川緑地のリ・デザイン」によるものということもわかりました。本当に「茨木川緑地のリ・デザイン」は成功しているのかどうか、どのように総括しておられるのでしょうか。これから10年間の計画が「緑を考慮したみどりの空間等の確保に務める」のであるならば、元茨木川緑地の木々の伐採のようなことがないように計画していただきたいと願います。</p> <p>おにクル東側の道路づたいに南北に連なっている木々の緑の地帯は、外部より夏では2度位温度が低く、外工事の人や、市役所などに用事のある住民が昼の休憩によく使っていました。私も通院や買い物などで市街地に行った時に、昼の弁当をそこでよく食べていました。それが、おにクルの建設に伴って「整備」されたものは、青空がスケスケに見えるほど、木々が大量に伐採され(多分100本以上)、残された木のまわりにつくられた一見格好のよいベンチには直射日光がさし、暑くて座って居られないものになってしまいました。緑地は、夏涼しいだけでなく、コンクリートのマンションぐらしの住民にとって、心地よい風や小鳥のさえずり、草木のにおいがする、生き返ったこちのするいこいの場でもあります。また、近頃の地球温暖化から地球三湯化の時代にかけて、CO2を吸収して、O2を出してくれる大切な木々なのですから、そして、成長するには何十年とかかるのですから、絶対に伐採するのは止めて下さい。老化したおれそうになっているのなら、できるだけ手当てをして、切ってしまうことはさけて下さい。どうしても切らねばならないならば次の植樹をして下さい。元茨木川の緑地は街にある茨木の宝(財産)です。どうぞ「次なる未来」へ次いでいって下さい。</p>	<p>元茨木川緑地リ・デザイン計画は市民とのワークショップや学識経験者の意見を反映し策定されたものであり、健全な元茨木川緑地の在り方として①活動・文化を育む仕組みづくり、②植栽環境の健全化、③利活用空間の創出を3つを基本方針としています。</p> <p>残すべき樹木を見極めながら、景観・季節感の向上や樹木の生育、生活環境の安全性の確保や、自然災害時のリスク軽減の視点から、樹木密度管理による健全な植栽環境づくりを行うこととしており、次なる茨木である50年後の元茨木川緑地を見据えながら、樹木医の意見を参考に、必要な伐採および植栽を実施していきます。</p>
124	111	5-3-5 緑のまちづくりの推進	<p>高齢者が散歩に行った時、公園で簡単な運動ができるような運動器具(ぶら下がったり、腕に力が付くような等々)を設置することを検討してください。</p>	<p>茨木市内の公園には多くの健康遊具が設置されています。詳しくは以下のHPをご覧ください。 https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kensetsu/koen/menu/koen_yugug/koen_yugusyokai/kenkoyugu.html</p>
125	120	6-3-2 再資源化の推進	<p>現在市役所やきらめき等にある電池・蛍光管・小型家電回収ボックスの設置拡大と、周知の徹底をお願いします。長く茨木に住んでいるかたでも、その存在を知らなかったという人が本当に多いです。おにクル、コミセン、図書館などにも設置し、地域や学校も通して、その利用を推進してほしいと思います。</p>	<p>周知については、広報誌やアプリ等にて電器店等の店頭回収や本市拠点回収の利用を促していきます。また、設置拡大については、新たな分別品目・再資源化と合わせて検討していきます。</p>
126	123	6-4-1 健康に過ごすことができる生活環境の保全	<p>茨木市内においてPFASが検出され、となりの摂津市でも大きな問題になっています。市内での検出について原因・経過・現在の状態を明らかにし、市民が安心して生活できるように願います。</p>	<p>PFOS・PFOAについては、地下水・河川の水質検査において検査を行っており、指針値を超過した場合には、周辺の水質及び聞き取り調査を行っていますが、現時点において原因は特定できていません。結果につきましては報道提供とHPへの掲載を行っています。</p>
127	123	6-4-1 健康に過ごすことができる生活環境の保全	<p>PFASが茨木でも検出されましたが詳しいことはあまり知られていません。市としても原因、経過、現状、対策など身近な問題として全体に知らせてください。</p>	<p>水道水につきましては、定期的に水質検査を行い、国の定める目標値をすべて下回っていることを確認しており、結果につきましては市のHPへの掲載を行っていきます。</p>

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
128	128	7-1-5 地域社会の発展に貢献できる職員の育成	地域社会発展に貢献できる職員の育成とありますが、現在会計年度職員等、正規職員ではない職員らの割合がとても高くなっています。約4年前、一部会計年度職員の就業時間を削り、正規職員並の社会保険対応ができなくなったことで、職務への意欲をそがれたという人もいます。高い能力・専門知識を必要とする現場の職員の継続雇用と育成のためにも、社会保険・福利対応は重要であると思います。今非正規雇用の割合があがり、所得格差など社会問題にもなっています。まずは自治体から、雇用体系の改善、安定した人材育成と雇用の保障への先導をきってほしいと願います。	関係法令を踏まえ、財政状況も勘案しながら、引き続き組織として最適と考える任用・勤務形態の人員構成に努めるとともに、共創の推進に向けた効果的な人材育成を進めていきます。
129	131	7-2-3 公共施設等の計画的な保全・更新と資産の有効活用	学園町にある「待機児童保育室あゆみ」の跡地の活用については、地域の人々の意見を聞き有効利用できるように市の政策として取り組んでください。	有効活用については、その他の施設も含め、全庁的に市民ニーズや行政課題等を踏まえ、検討していきます。
130	135	●財政計画	莫大な税金を使う大型開発はストップして下さい！！	「将来」のまちの活性化や住みたいと思われる魅力あるまちづくりにつながる主要プロジェクトをはじめとするハード事業の取組は、次なる茨木の実現のために重要な事業であると考えています。なお、教育や子育て、福祉施策等のソフト事業につきましても適切に対応しており、今後もまちの持続的発展に向け、ソフト事業、ハード事業ともに着実に推進していきます。
131	別冊	●【別冊】総合戦略指標集(案) 施策5-4住環境	重要業績評価指標の19ページ「施策5-4住環境」で掲げている3つの指標はいずれも回数で、指標だけを見ても取組効果がわかりにくいので、取組効果がわかりやすい指標に見直したほうが良い。	以下のように変更します。

施策5-4 住環境							
取組番号	取組名	重要業績評価指標(KPI)の名称	基準値		めざす方向性	目標値	
			数値	年度		数値	年度
5-4-1	住み続けられる・安心して住める環境づくり	空家等の新規相談件数	41 件	令和5年度	→	35 件	令和11年度
		分譲マンションセミナーの参加者数	53 人	令和5年度	↗	60 人	令和11年度
		大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度d協力店の登録件数	11 件	令和5年度	↗	12 件	令和11年度

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
132	—	計画素案以外の意見等	マイナンバーカード保険証マイナンバーカード運転免許証電気自動車(EV)と水素自動車の開発立体駐車場の建設天災、災害、南海トラフ巨大地震、首都直下地震。台風。竜巻。津波高潮。洪水。線状に帯などによる緊急避難所の建築と毎年のハザードマップの作成。1人1人の国民の手帳の購入。茨木役所様で、毎年三資堂の模範文法。現代用語の基礎知識。日本貨幣カタログ。日本切手カタログを購入して茨木市のおにくる図書館に置く案件。天災災害が起きた時の地域創生。郵便投票方法の確立。茨木市役所様に8Kスーパーコンピューター。万、億、兆、京、垓、秊、穰、溝、澗、正、載、極、恒河沙、阿僧祇、那由他、不可思議、無量大数、洛叉、俱胝、阿庖多、丈河他多田、夕、半夕、ドット、g、半g、ドットの桁の単位の計算。天災、災害が起きた時の全住宅の再建。倒壊のした際の総合建築基準の確立。	計画の記載事項に関わる内容ではないことからご意見として承り、今後の市政運営の参考にさせていただきます。
133	—	計画素案以外の意見等	(ヌード)モデルの基本的人権。写真のヌードは同性の女性が撮影し、女性が出版物を管理して下さい。男性には管理させてはいけません。できれば各自治体が管理をして、モデル料は管理している女性がそのつと支払うのです。モデルの●●の●は支払って下さい。本●の考慮して、著作権を茨木市に譲渡します。(今は著作権は地球規模ですが?)宇宙を視野にいれて手配して下さい。『私は国民総生産を上げて、年金●●●として還すべきだと考えています。16才の時の「川端康成様」の「トンネルをぬけると雪国だった」は当時の私は、いい表現だなと考えた。しかし、現在この表現では、多くの女性の皆様は怒るのでは?』 ●は読取不能の箇所	計画の記載事項に関わる内容ではないことからご意見として承り、今後の市政運営の参考にさせていただきます。